

**上富田町**  
**まち・ひと・しごと創生**  
**総合戦略**

(平成30年6月改定版)

**平成30年6月**  
**和歌山県上富田町**

## 「上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」改定 によせて



上富田町長 奥田 誠

平成27年10月に策定しました「上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」も4年目を迎えました。

総合戦略5つの柱と32の施策の中には、KPI（重要業績評価指標）を達成できた指標もあれば、ほとんど進捗が見られない指標もあります。

今後におきましても、策定時の趣旨を受け継ぎ、達成できた分野はより伸ばし、目標を達成できるよう取り組んでまいります。

地方創生とは、活力ある町であり続けるための取り組みで、誰もが安心して育ち、学び、働き、そして、元気に暮らすことができる上富田町をめざすものです。

特に、和歌山大学に業務委託しました「上富田町の健康・地域づくり支援と介護予防・健康寿命の効果分析」では、運動と健康との関連性など、ボランティア活動や地域活動が介護予防と深い関わりがあるとの分析結果が出ています。

今後は、地方創生加速化交付金事業や地方創生推進交付金事業で整備しました「スポーツサロン」を活用した、地域住民の健康づくりや介護予防対策に取り組んでいきます。

また、昨年11月に設立しました「一般社団法人 南紀ウエルネスツーリズム協議会」を軸に、スポーツ観光の推進をはじめ、観光資源の掘り起こしや磨き上げを図り、地域経済の活性化に取り組んでいくとともに、平成31年度に開設を目指す「食育交流センター（仮称）」では、スポーツサロンとの連携を図り、食育の大切さを伝えていきます。

更に、本年5月から開校しました「紀州くちくまの熱中小学校」では、起業家を志す人材の育成と他地域からの受講生や講師との繋がりを広げ、交流人口の増加などを目的に開催しています。

これからのまちづくりは、町民が主役であること、一人ひとりを大切にすることを念頭におき、まちづくりを推進してまいります。

地域住民や民間の法人との協働により、「地方創生事業で活力あるまちづくり」、「未来を託す子どもたちが輝くまちづくり」に取り組んでまいります。引き続き、町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成30年6月

## 「上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」によせて



前上富田町長 小出隆道

日本の人口は、2000年代初頭にピークとなり減少が始まっています。人口減少は、労働人口の減少、消費人口の減少という形で経済にも影響を与えます。

少子高齢化の進展と人口減少に対応し、地域経済の活性化の取り組みを一層強めるため、昨年、国では「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、地方自治体においては、「地方人口ビジョン」と「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定が努力義務とされました。

これまでは人口が増えてきた上富田町においても、10年ほど前から自然減になっているとともに、ここ2、3年は津波災害への心配から再び社会増になってはいるものの、傾向的には社会減が続く見込みがあります。このまま何も手を打たなければ、2060年には人口が1万人程度になるという試算があります。人口減少幅を小さくするとともに、雇用を確保し、所得を安定化させ、地域経済の活性化をはかることは、ここ上富田町においても重要な課題になっています。

そこで、本町では、将来的に、どの程度の人口減少・高齢化になるのかを冷静に見込み、効果的な人口減少対策と地域経済の活性化策をとることで、2060年の人口を1万2691人とする目標を定めた「人口ビジョン」を策定しました。

また、当面の5年間で実施すべき事業をとりまとめるため、町民のみなさんや事業所、転出者の方々にアンケートをとり、くわえて、商工会やJA、町内の事業所、住民団体の代表の方々など18人の委員からなる「上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」でご議論いただき、「上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

「総合戦略」という計画は作って終わりではありません。今後は「総合戦略」に掲げた内容を具体化し実行をしていきます。毎年、事業の進捗状況をチェックし、不十分なところはテコ入れをするなどとともに、「総合戦略」そのものもバージョンアップをしていくことになります。

町民のみなさんと一体となって、「みんなが学んで花ひらく口熊野かみとんだ」の実現に取り組んでまいります。町民のみなさんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成27年10月

# 目次

<b>第1章 上富田町総合戦略策定にあたって</b> .....	<b>1</b>
人口減少は長期的・継続的に取り組むべき大きな問題.....	1
1. 基本的な考え方.....	1
（1）人口減少と地域経済縮小の克服への基本的視点.....	2
（2）まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立.....	2
（3）まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則.....	3
2. 総合計画と総合戦略の関係について.....	3
3. 計画の期間.....	3
4. 計画の策定方法について.....	4
（1）「上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の必要性.....	4
（2）策定する人口ビジョン及び総合戦略.....	4
《策定体制》.....	4
<b>第2章 総合戦略の基本目標</b> .....	<b>5</b>
1. 人口減少に対応するための基本目標.....	5
（1）進捗把握の重要業績評価指標（KPI <sup>※</sup> ）・数値目標を設定.....	5
（2）「上富田町人口ビジョン」が示す中長期展望（目標）について.....	6
（3）上富田町の5つの「基本目標」.....	8
<b>第3章 総合戦略基本目標と具体的施策について</b> .....	<b>9</b>
1. 施策の基本的方向と主な具体的な取り組み.....	9
【基本目標1】上富田町における安定した雇用を創出する.....	10
◆働く場のあるかみとんだ.....	10
【基本目標2】上富田町への新しいひとの流れをつくる.....	12
◆人が集まるかみとんだ.....	12
【基本目標3】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる.....	16
◆子育てするならかみとんだ.....	16
【基本目標4】時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する ◆元気でいきいきかみとんだ.....	19
【基本目標5】町民全体の知恵と力でもって、これからの上富田町をつくる.....	22
◆みんなで支えるかみとんだ.....	22
<b>第4章 総合戦略の推進体制</b> .....	<b>24</b>
1. P D C A サイクルの導入.....	24
2. 施策の進捗管理体制と外部有識者の参画.....	24
3. 進捗状況の点検.....	24
4. 地域間の連携推進.....	24

# 第1章 上富田町総合戦略策定にあたって

## 人口減少は長期的・継続的に取り組むべき大きな問題

人口減少は長期的・継続的に取り組むべき大きな問題です。人口減少に歯止めをかけるには長い時間を要します。国は、平成2年の「戦後最低の合計特殊出生率1.57ショック」を契機に、出生率の低下と子どもの数が減少傾向にあることを「問題」として認識し、仕事と子育ての両立支援など子どもを産み育てやすい環境づくりに向けての対策を進めてきました。上富田町も国の歩調に合わせ、上富田町総合計画や次世代育成支援行動計画、子ども・子育て支援事業計画を通じて、長期に渡り取り組んできました。

上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、総合戦略）では、人口減少を最小限に食い止め、人口減少と地方創生に対応する施策を強化し、1つ1つを積み重ねながら、上富田町の付加価値をつけてゆき、人口減少と地方創生に取り組んでいきます。目標の実現には、住民、行政、企業などあらゆる主体の積極的な参画が不可欠であり、関係機関や企業等とも連携しながら、上富田町の総力を結集し、スピード感を持って取り組みを進めていきます。

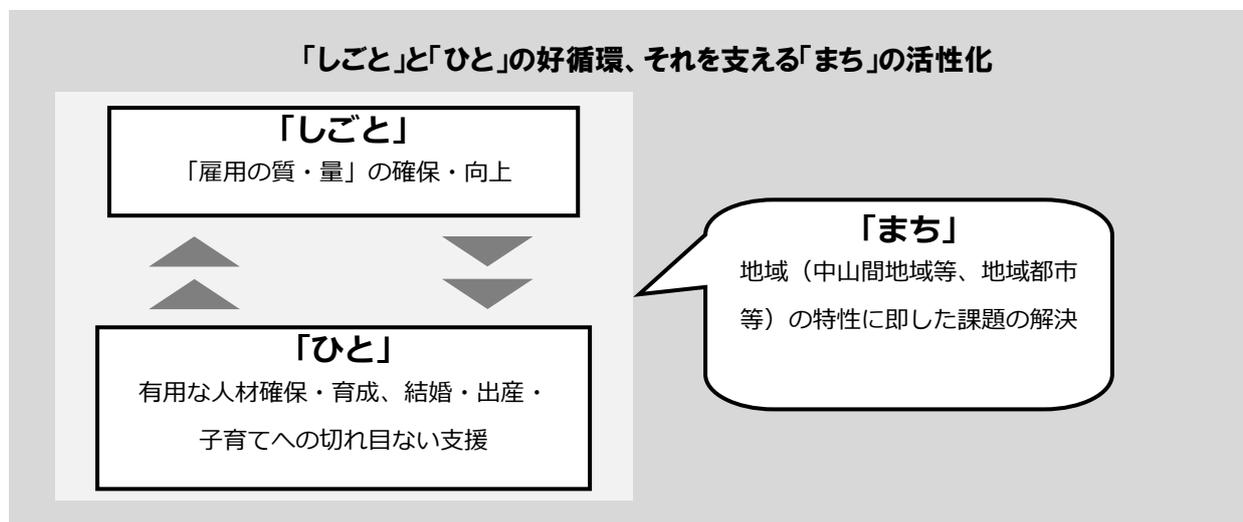
### 1. 基本的な考え方

国が平成26年12月に策定した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案して、上富田町の総合戦略を策定します。

総合戦略は、人口減少と地域経済縮小を克服するものであり、長期的には地方で「ひと」をつくり、その「ひと」が「しごと」をつくり、「まち」をつくるという流れを確かなものにするためのものです。

人口減少問題は地域によって状況や原因が異なります。従って、将来に向け上富田町が抱える課題に応じた対応策が必要となります。

人口減少問題は、国だけでなく、都道府県、市町村が一体となり長期的にわたって取り組まなければ対応できないものです。次の世代が暮らしやすい社会になるよう、現段階から人口減少、少子高齢化への対策を日本全体で講じることが求められています。



## (1) 人口減少と地域経済縮小の克服への基本的視点

人口減少を克服し、地方創生を成し遂げるため、国からは以下のような基本的視点が出ています。上富田町としても人口、経済、地域社会の課題に対して一体的に取り組むことが重要です。

### ①「東京一極集中」を是正する。

地方から東京圏への人口流出に歯止めをかけ、「東京一極集中」を是正するため、「しごとの創生」と「ひとの創生」の好循環を実現するとともに、東京圏の活力の維持・向上を図りつつ、過密化・人口集中を軽減し、快適かつ安全・安心な環境を実現する。

### ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する。

人口減少を克服するために、若い世代が安心して就労し、希望通り結婚し、妊娠・出産・子育てができるような社会経済環境を実現する。

### ③地域の特性に即して地域課題を解決する。

人口減少に伴う地域の変化に柔軟に対応し、中山間地域をはじめ地域が直面する課題を解決し、地域の中において安全・安心で心豊かな生活が将来にわたって確保されるようにする。

## (2) まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

国においては、好循環を確立する取り組みについて、以下のような項目をあげています。上富田町でも新たな人の流れを産み出し、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻し、人々が安心して生活を営み、子どもを産み育てられる社会環境をつくり出す取り組みが必要です。

### ①しごとの創生

地域に根付いたサービス産業の活力、生産性の向上、雇用のミスマッチに対する経済の状況や変動に応じた円滑な対応など、『雇用の質』の確保・向上に注力する。

若い世代が安心して働ける「相応の賃金」＋「安定した雇用形態」＋「やりがいのあるしごと」等の要件を満たす雇用の提供が必要。また地域における女性の活躍を推進する。

地域経済に新たな付加価値を生み出す核となる企業・事業の集中的育成、企業の地方移転、事業承継の円滑化等に取り組む、安定的な『雇用の量』の確保・拡大を実現する。

### ②ひとの創生

地方への新しい人の流れをつくるため、若者の地方での就労を促すとともに、地域内外の有用な人材を積極的に確保・育成し、地方への移住・定着を促進する仕組みを整備する。

安心して子どもを産み育てられるよう、結婚から妊娠・出産・子育てまで、切れ目のない支援を実現する。

### ③まちの創生

それぞれの地域が個性を生かし自立できるよう、ICTを活用しつつ、まちづくりにおいてイノベーションを起こしていくことが重要。

中山間地域等において地域の絆の中で人々が心豊かに生活できる安全・安心な環境の確保に向けた取組を支援するとともに、都市のコンパクト化と交通ネットワーク形成の推進や、広域的な機能連携、大都市圏等における高齢化・単身化の問題への対応、災害への備えなど、それぞれの地域の特性に即した地域課題の解決と、活性化に取り組む。

### (3) まち・ひと・しごとへの創生に向けた政策5原則

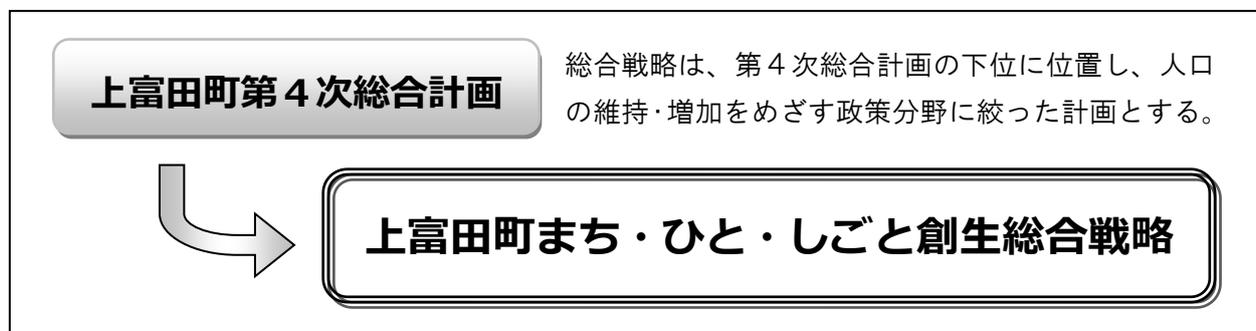
国は人口減少の克服と地方創生を確実に実現するため、次の5つの政策原則を掲げています。上富田町においても、次の政策5原則に基づきつつ、関連する施策を展開することが必要です。

- ①自立性  
構造的な問題に対処し、地方自治体、民間事業者、個人等の自立につながる施策にする。
- ②将来性  
地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する。
- ③地域性  
各地域の実態に合った施策を受け手側の視点に立って支援する。
- ④直接性  
最大限の成果をあげるため、ひとの移転、しごとの創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施する。
- ⑤結果重視  
PDCA<sup>\*</sup>メカニズムの下、具体的な数値目標を設定し、効果検証と改善を実施する。

※Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のことです。

## 2. 総合計画と総合戦略の関係について

人口減少と地域経済縮小に関しては、以前より上富田町総合計画の各施策にて、対応をしてきました。より強化をしていくために、「上富田町総合計画」と「上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の位置づけについては、以下の通りです。



## 3. 計画の期間

「上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の期間は平成27（2015）年度～平成31（2019）年度の5年間とします。

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
上富田町総合計画（第4次）	▶										
上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略					▶						

## 4. 計画の策定方法について

### (1) 「上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の必要性

人口が減少する見込みであるため、人口に関する長期的な展望を定め、それを基に人口減少対策を中心とした長期的かつ総合的な計画を策定する必要があります。

### (2) 策定する人口ビジョン及び総合戦略

国が平成26年12月に策定した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案して、上富田町の人口ビジョン及びその達成のための総合戦略を策定します。

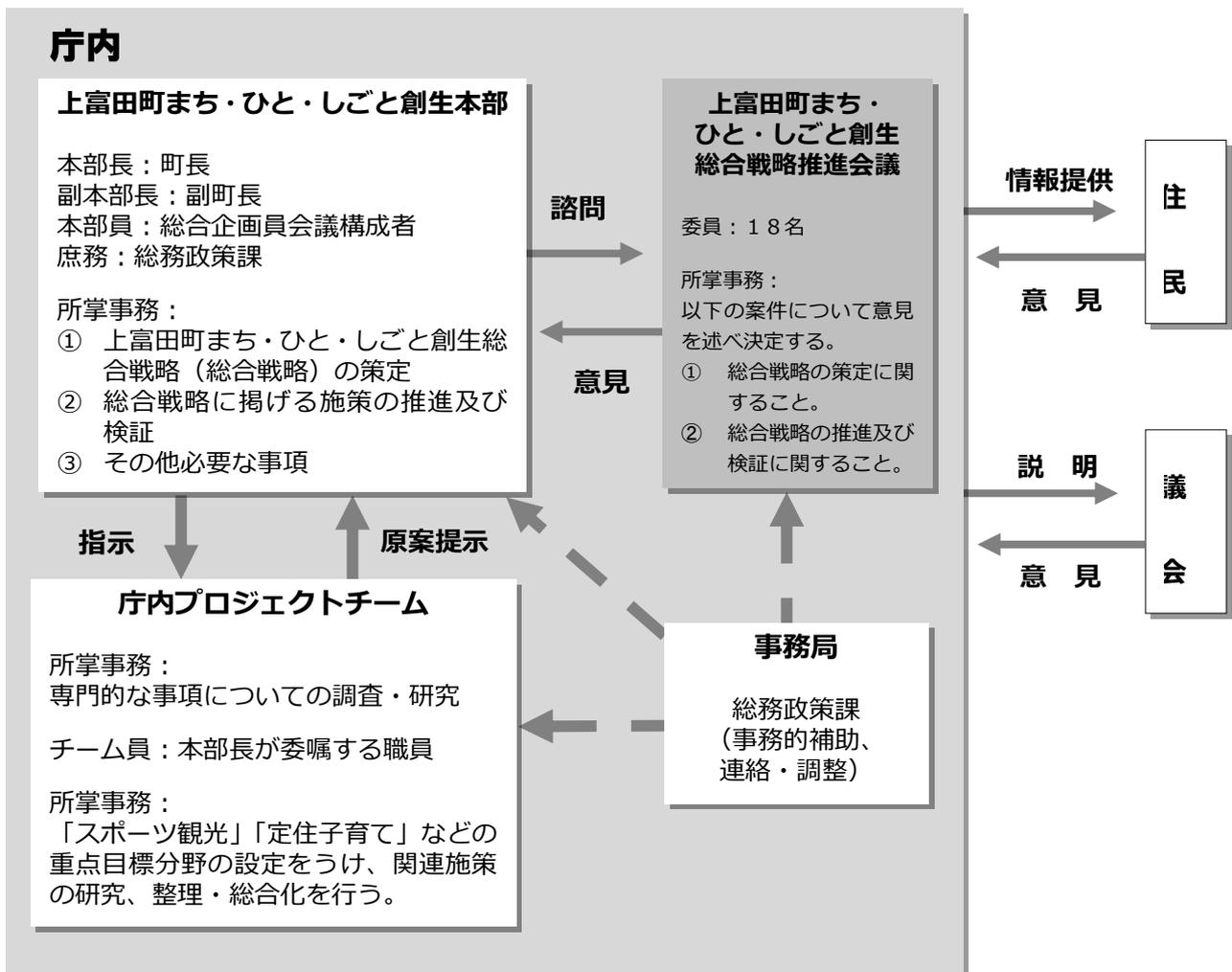
#### ○人口ビジョン

人口ビジョンでは、現状分析、将来推計（このままいくとどうなるか）をふまえ、人口の将来像に対する「目標」を定めるとともに、目標を実現するために具体的にすべきことについて、方向性を提示するものです。対象期間は、国の長期ビジョンの期間（2060年）を基本とします。

#### ○総合戦略

人口ビジョンを基に、上富田町における今後5か年（平成27年度～31年度）の目標、施策の基本的方向性や施策を提示する戦略を策定します。内容は、人口ビジョンを実現するために必要な人口減少を増加に転じる、又は減少を緩和するための方策を総合的に取りまとめます。

#### 《策定体制》



## 第2章 総合戦略の基本目標

上富田町における人口の将来展望（目標）を実現し地方創生を成し遂げるため、基本目標を定め具体的施策を推進します。なお、各施策の重要業績指標(KPI)については、上富田町総合計画との関係も含め、計画の評価に際し見直しをしながら進めていきます。

### 1. 人口減少に対応するための基本目標

国の政策5原則に基づき、まち・ひと・しごとの一体的な創生を図っていくために、上富田町の地域経済・社会の実態に関する分析をしっかりと行い、「上富田町人口ビジョン」を基にし、総合戦略を策定し目標を設定します。

#### (1) 進捗把握の重要業績評価指標（KPI※）・数値目標を設定

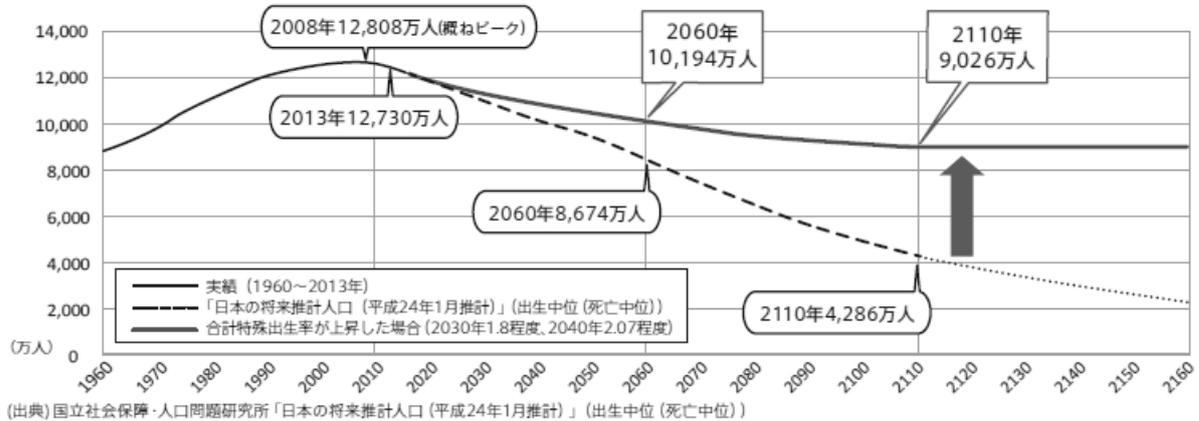
国の「総合戦略」では、政策の「基本目標」を明確に設定し、それに基づく適切な施策を内容とする「政策パッケージ」を提示するとともに、政策の進捗状況について重要業績評価指標（KPI）で検証し、改善する仕組み（PDCAサイクル）を確立しています。

上富田町においても「上富田町人口ビジョン」が示す人口の中長期展望（目標）を踏まえ、目標を設定し、各施策の重要業績評価指標（KPI）・数値目標を設定します。

#### 国の「長期ビジョン」が示す中長期展望

- 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（出生中位（死亡中位））によると、2060年の総人口は約8,700万人まで減少すると見通されています。
- 仮に、合計特殊出生率が2030年に1.8程度、2040年に2.07程度（2020年には1.6程度）まで上昇すると、2060年の人口は約1億200万人となり、長期的には9,000万人程度で概ね安定的に推移するものと推計されています。
- なお、仮に、合計特殊出生率が1.8や2.07となる年次が5年ずつ遅くなると、将来の定常人口が概ね300万人程度少なくなると推計されています。

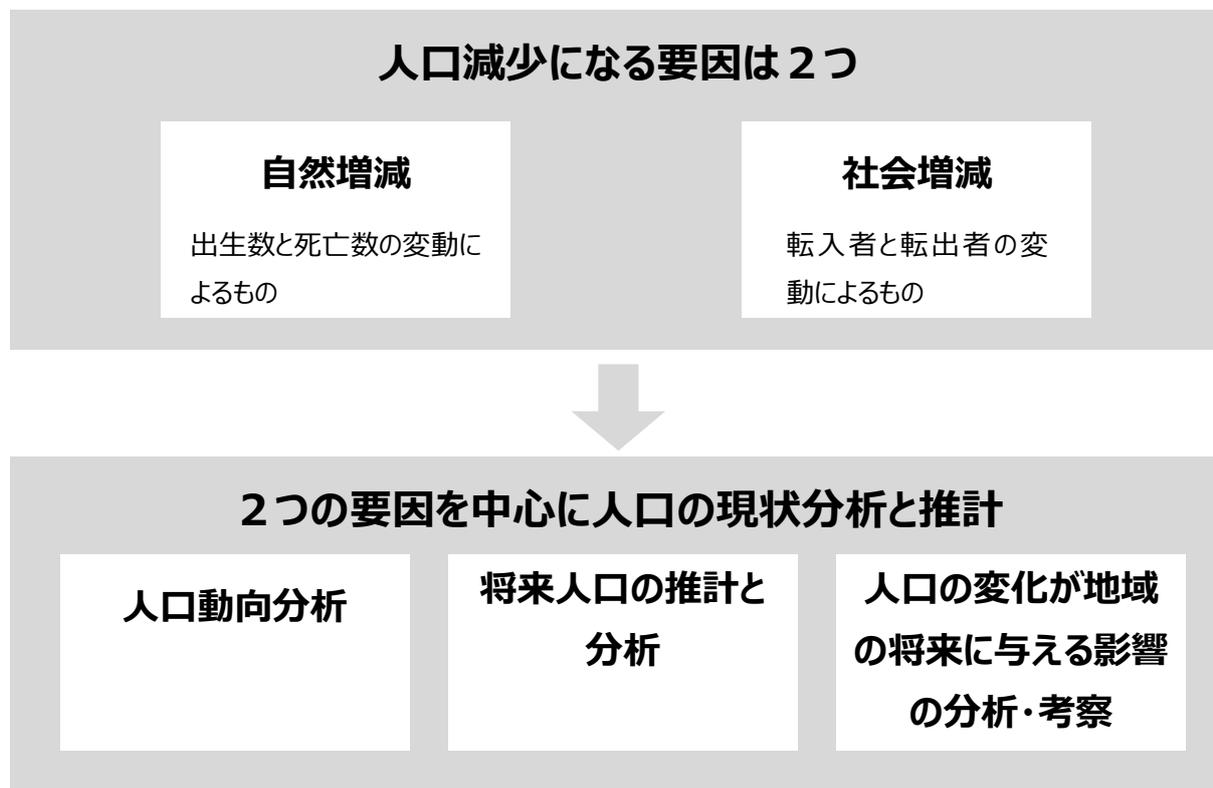
#### 我が国の人口の推移と長期的な見通し



※Key Performance Indicator の略称。達成すべき成果目標のことです。

## (2)「上富田町人口ビジョン」が示す中長期展望（目標）について

上富田町の人ロビジョンの対象期間は、2015年～2060年とします。人口の現状分析を踏まえて、目指すべき将来の方向性を検討するとともに、上富田町の人ロの将来展望（目標）を提示します。人口減少については、主に2つの要因が原因となっています。2つの要因動向を追いながら、現状を把握し、将来を見据え、どのような人口になるのか人口の将来像「目標」を定めるとともに、目標を実現するための方向性を提示するものです。



本町の総人口は、1980年以降2005年までは順調に増加してきました。2000年に年少人口と高齢人口比率の逆転がおき、人口構成が変化しながら、本格的な減少傾向の入り口に立っています。

人口減少の進行によっておきるのは、単に人口が減少していくだけでなく、人口構成そのものが大きく変化します。低い出生率が続き、子どもの数が減るといふ少子化が進行する中で、生産年齢人口も減少し、平均寿命の伸長もあいまって急速に高齢化が進んでいきます。

本町においては、転出が多い15歳～24歳の年齢層が定住してもらえるように、今後も住みやすい町づくりを続けていく必要があります。また、子育て期にあたる20～39歳女性人口の減少などを考えると、自然増減と社会増減の両面に対する施策に取り組む必要があると考えられます。

## 「上富田町人口ビジョン」が示す中長期展望（目標）

14,807人 ⇒ 13,823人 ⇒ 12,691人

(2010年)

(2040年)

(2060年)

合計特殊出生率の目標：2020年に1.80

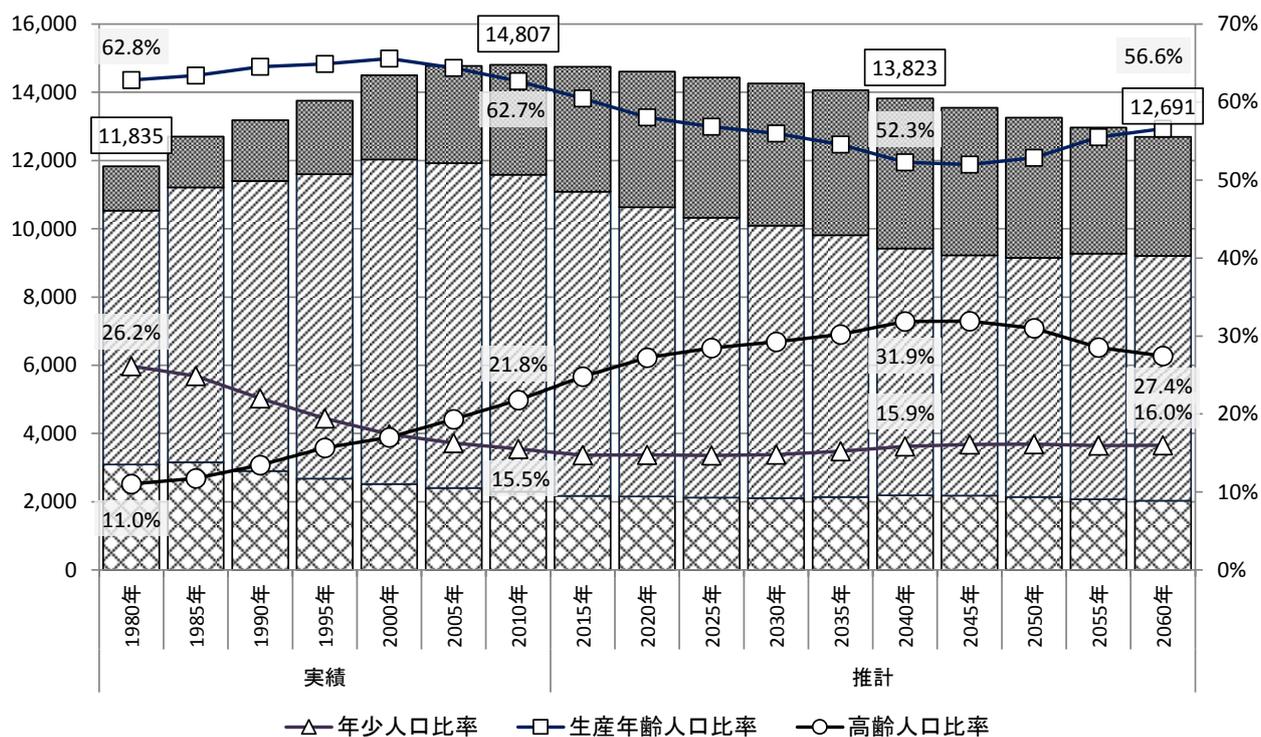
2030年に2.07（和歌山県と同様の想定）

社会増減の目標：増減なし

国の長期ビジョンと和歌山県のまち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえ目標としながら、上富田町の様々な施策と人口対策の効果が十分実現すれば、若い世代の結婚が促進し、出産・子育ての希望が実現し、合計特殊出生率が2020年に「1.8」、2030年に「2.07」へ上昇すると想定しています。

また、社会増減（転入転出）については積極的な移住や定住促進施策により均衡し、増減なしとする想定です。これにより、将来的には緩やかな人口減少と年齢構成のバランス維持につながり、高齢化率も2045年に31.9%のピークを迎えたあと、2060年には27.4%になると想定されます。

現在65歳以上の1人を「現役」世代2.9人で支えています。2045年の高齢化のピーク時には、1.6人で支えることとなります。



### (3) 上富田町の5つの「基本目標」

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「長期ビジョン」を踏まえ、政策分野を勘案して、平成31年の施策分野の方向性として4つの基本目標を設定しています。和歌山県においては、5つの基本目標を設定しています。「上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、国の基本目標を勘案し、和歌山県の基本目標も参考にしながら、上富田町の実情に合わせた基本目標を設定します。

#### ■国のまち・ひと・しごと創生総合戦略が定める基本目標

- 基本目標 ①地方における安定した雇用を創出する
- 基本目標 ②地方への新しい人の流れをつくる
- 基本目標 ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標 ④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

#### ■和歌山県が定める総合戦略基本目標

- 基本目標 ①安定した雇用を創出する
- 基本目標 ②和歌山県への新しい「人の流れ」を創造する
- 基本目標 ③少子化をくい止める
- 基本目標 ④安全・安心な暮らしを実現する
- 基本目標 ⑤時代に合った地域をつくる

#### ■上富田町の基本目標

- <基本目標①> 上富田町における安定した雇用を創出する
  - ◆働く場のあるかみとんだ
- <基本目標②> 上富田町への新しいひとの流れをつくる
  - ◆人が集まるかみとんだ
- <基本目標③> 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
  - ◆子育てするならかみとんだ
- <基本目標④> 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守りとともに、地域と地域を連携する
  - ◆元気でいきいきかみとんだ
- <基本目標⑤> 町民全体の知恵と力をもって、これからの上富田町をつくる
  - ◆みんなで支えるかみとんだ

# 第3章 総合戦略基本目標と具体的施策について

## 1. 施策の基本的方向と主な具体的な取り組み

基本目標	施策の方向	主な取り組み
<b>上富田町における安定した雇用を創出する</b> ◆働く場のあるかみとんだ	地域資源を活用して雇用を増やす	遊休土地の有効活用（農地中間管理）、就農給付金
	付加価値を見出し産業を育成する	新規複合経営者の支援
	企業誘致を推進し雇用を増やす	新たなビジネスモデルの支援、事業所等立地促進事業、民間法人の設立支援
	新エネルギーを利用して雇用を増やす	再生可能エネルギー事業所への情報提供、公共施設への再生可能エネルギー発電設備の設置
<b>上富田町への新しいひとの流れをつくる</b> ◆人が集まるかみとんだ	文化・芸術・観光の魅力を高める	道の駅くちくまのを拠点としたイベントの開催、イベント等において町をPRするブースの設置、ふるさと納税の商品の充実、観光コンシェルジュの活用、観光パンフレットの作成・HPの多言語化
	スポーツ観光により交流人口を増やす	スポーツ観光のためのパンフレット作成、訪問活動によるリピート率の向上
	移住・定住環境の整備	移住者PRイベントの開催、移住開設、HPの空き家登録システムの構築
<b>若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</b> ◆子育てするならかみとんだ	結婚の希望をかなえる	農業後継者の婚活イベント
	みんなで育てよう上富田の子ども	子育て支援センター他制度の周知
	心豊かな子どもの土台を育てる	保育士の研修、保護者向けの講演会の実施、延長保育・土曜保育の実施、子ども体力向上推進事業
	「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む	学校施設の充実、学校給食の実施、学力・体力の向上、青少年育成町民会議等世代間・地域間の交流を深める
<b>時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</b> ◆元気でいきいきかみとんだ	自分でつろう自分の健康	ウォーキング人口を増やす、健診率の向上
	みんなでつくる災害に強い町	避難所でのエコノミークラス症候群予防エクササイズの普及、町道・橋梁の長寿命化、水道施設の強化、家具転倒防止対策
<b>町民全体の知恵と力をもって、これからの上富田町をつくる</b> ◆みんなで支えるかみとんだ	「愛町心」を育む	伝統文化・芸能の継承活動、町紹介ビデオの制作
	上富田町のアイデンティティを高める	上中・熊高との連携、地域ならではの活動（一地域一特産（仮称））、福祉の小地域活動、町カフェなど集いの場づくりの推進

## 【基本目標1】上富田町における安定した雇用を創出する

### ◆働く場のあるかみとんだ

#### ■数値目標

新規就農者3名、農業以外の雇用者の増20人を達成するとともに、基本目標2の移住対策の結果とをあわせて、社会減を解消する。(平成18年から22年までの平均の社会減32人)

## 1. 基本的な方向

- 地域資源を活用して雇用を増やす
- 付加価値を見出し産業を育成する
- 企業誘致を推進し雇用を増やす
- 新エネルギーを利用して雇用を増やす

## 2. 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

### (1) 地域資源を活用して雇用を増やす

遊休土地の有効活用		
施策内容	町内の遊休土地を利用した新規就農者の確保もしくは、既存農業経営者の経営面積の拡大	
KPI (重要業績評価指標)	青年就農給付金利用者 (H26年度2名、25年度0名) → 3名 (H31まで) 経営面積 5ha (H26年度 0.3ha)	
具体的な事業	農地中間管理事業 (県)	産業建設課産業振興G
	青年就農給付金 (国)	産業建設課産業振興G

### (2) 付加価値を見出し産業を育成する

オンリーワンの農作物づくりに取り組む		
施策内容	新規複合経営者の支援	
KPI (重要業績評価指標)	複合経営者 H26年度実績0名 → 3名 (H31)	
具体的な事業	経営体育成支援事業 産地パワーアップ事業	産業建設課産業振興G

### (3) 企業誘致を推進し、雇用を増やす

企業誘致のためのPR活動を実施する		
施策内容	町内の主要産業である農業や製造業を核とした新たなビジネスモデルを構築したい事業者に対し支援策を講じ、地域産業の振興を図ることで雇用を創出する。また、福祉のまちとして、利用者がより一層の利便性を得られるよう、福祉関係事業所の誘致についても積極的に行う。	
KPI (重要業績評価指標)	5年間での雇用創出者数(農業除く)20人((4)の再生可能エネルギー事業所による雇用増含む)	
具体的な事業	事業所等立地促進事業	総務政策課まちづくりG
	上富田町商工会への補助	総務政策課まちづくりG
	民間法人の設立支援	総務政策課まちづくりG

### (4) 新エネルギーを利用して雇用を増やす

再生可能エネルギーの事業化の検討		
施策内容	町内では、遊休土地を利用した再生可能エネルギー発電への民間事業者の取り組みが活発であり、今後においても情報提供を積極的に行う。また、公共施設への再生可能エネルギーを利用した発電設備を設置するなど、環境に配慮したまちづくりを推進する。さらに、木質バイオマスの利用を検討し、森林の伐採及び搬出量の増加による雇用を創出する。	
KPI (重要業績評価指標)	5年間での雇用創出者数(農業除く)20人((3)の企業誘致等による雇用増含む)	
具体的な事業	庁内再生可能エネルギー検討会議の設置	総務政策課・産業建設課

## 【基本目標 2】上富田町への新しいひとの流れをつくる

### ◆人が集まるかみとんだ

#### ■数値目標

イベント等での移住相談年間3件を実際に移住につなげるとともに、基本目標①の雇用創出の結果とをあわせて、社会減を解消する。(平成18年から22年までの平均の社会減32人)

### 1. 基本的な方向

- 文化・芸術・観光の魅力を高める
- スポーツ観光により交流人口を増やす
- 移住・定住環境の整備

### 2. 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

#### (1) 文化・芸術・観光の魅力を高める

道の駅くちくまのを拠点としたイベントを開催する		
施策内容	町の情報発信拠点・地域連携の場として活用し、来訪者が参加しやすい体験型イベントを開催する。	
KPI (重要業績評価指標)	1イベントあたりの参加者 2,000名 (年間3回実施)	
具体的な事業	眺望の道トレッキングツアー	総務政策課
	かみとん市	総務政策課・産業建設課

イベント等において町をPRするブースを設置する		
施策内容	町開催のイベントや、道の駅で来訪者に町の魅力を発信できるようなPRブースを設置する。町の魅力を発信するイメージビデオを放映する。	
KPI (重要業績評価指標)	インターネット上の閲覧回数 3万回/年 町への観光入込客数 314,084人 (H26) →10%増 (H31)	
具体的な事業	多世代交流町紹介映像制作事業	総務政策課

ふるさと納税の商品を充実する	
施策内容	納税者の方々に、町行政への関心と参加意識を高めるような商品の充実を図り、ふるさと納税を促進する。
KPI (重要業績評価指標)	ふるさと納税件数 45件(H26) → 1,000件(H31)
具体的な事業	さわやか上富田まちづくり寄付金 総務政策課

観光コンシェルジュ・紀州くちくまの熱中小学校等を活用した観光振興をはかる	
施策内容	観光コンシェルジュは町の観光情報の案内や地元情報の発信を行い、来訪者に対しての案内業務を行う。また、山形県高畠町他による「大人の社会塾（熱中小学校）」ネットワークと連携して「紀州くちくまの熱中小学校」を開講し、交流人口の拡大につなげるとともに、起業も含め、地元地域と連携し新しい情報や商品・サービスに繋がる観光振興を目指す。「紀州くちくまの熱中小学校」の会場として、生馬公民館芦山分館の改修を行う。
KPI (重要業績評価指標)	体験ツアー参加者 300人(H32における1年間の延べ人数)
具体的な事業	観光コンシェルジュ委託事業 紀州くちくまの熱中小学校事業 総務政策課

地域資源を利用した観光振興のための観光パンフレット作成やHPを多言語化する	
施策内容	豊かな自然や交通利便性など「ほどよいふるさと上富田」をテーマに町の魅力を、パンフレットの作成やHP等で積極的な情報発信を行う。「大人の社会塾（熱中小学校）」ネットワークと連携して「紀州くちくまの熱中小学校」を開講し、交流人口の拡大をはかる。
KPI (重要業績評価指標)	町への観光客入込客数（宿泊・日帰り） 314,084(H26) → 350,000(H32) 町への外国人観光客宿泊者数 82人(H26) → 1,000人(H32)
具体的な事業	観光パンフレット作成事業 紀州くちくまの熱中小学校事業 くちくまの観光塾事業 総務政策課

文化・芸術・スポーツ・自然の国内・国際交流を通じて観光振興をはかる	
施策内容	上富田町のもつ文化・芸術・スポーツ・自然などの資源をいかした体験旅行等を企画し、国内外からの観光客の増加をはかる。旅行業法を取得した民間法人を設立し、観光振興を担う人材育成をはかる。
KPI (重要業績評価指標)	町への観光客入込客数（宿泊・日帰り） 314,084(H26) → 350,000(H32) 町への外国人観光客宿泊者数 82人(H26) → 1,000人(H32) 体験ツアー参加者 300人(H32における1年間の延べ人数)
具体的な事業	(一社)南紀ウエルネスツーリズム協議会運営事業 南紀熊野かつとんだ(上富田)ツアー企画事業 紀州くちくまの熱中小学校 総務政策課

## (2) スポーツ観光により交流人口を増やす

スポーツ観光と健康づくりを推進する民間団体を設立、自立的に運営する		
施策内容	<p>①スポーツで健康なまちづくり、②健康づくりの実践による雇用の創出、③プロモーション、④移住を4本柱に、町内資源の有効活用を図り、住民が健康で生き生きと暮らせるための施策を官民協働で推進するため（一社）南紀ウエルネスツーリズム協議会を設立する。（29年11月）</p> <p>当該組織は、「スポーツ×健康」といった切り口などの体験旅行等のプロジェクトを企画するとともに、南紀地方全体のプロモーションを行い、各事業者の収益向上をもとに、5年以内の自走化体制を構築する。</p> <p>上富田スポーツセンターに筋力トレーニングのできるスポーツサロンを建設し、スポーツ大会・スポーツ合宿を誘致するとともに、地域住民の体力向上、介護予防対策事業（会員制）を展開する。</p> <p>また、食育交流センターを建設し、スポーツセンターの付加価値を高め、更なる交流人口の増加と地域住民の食育と交流の場づくり、消費拡大を図る。</p>	
KPI (重要業績評価指標)	団体の会費収入（年間） 0（H28）→1,211万円（H31） 体験事業延べ増加参加者数 0人（H28）⇒300人（H32） 町への観光客入込客数（宿泊・日帰り） 314,084（H26）→350,000（H32） 宿泊斡旋による延べ宿泊者数 2,250人（H28）⇒6,000人（H32） 10,000円/泊、人とすると、2,250万円（H28）⇒6,000万円（H32）	
具体的な事業	（一社）南紀ウエルネスツーリズム協議会運営事業 南紀熊野かつとんだ（上富田）ツアー企画事業	教育委員会・総務政策課

スポーツ観光のためのパンフレット作成やHPを多言語化する		
施策内容	スポーツを活用した観光まちづくりを目指すため、各種団体と連携し、上富田スポーツセンターを利用した観光を商品化し、パンフレットの作成やHP等で積極的な情報発信を行う。	
KPI (重要業績評価指標)	新規団体の合宿受入数 10団体 新規大会の誘致 3大会 スポーツセンターへの入込客 89,518人（H26）→125,000人（H31）	
具体的な事業	スポーツ観光ガイドブック等作成事業 町HPの多言語化事業	教育委員会

訪問活動によりリピート率を向上させる		
施策内容	京阪神圏を中心とした実施状況等を調査し、訪問活動により上富田スポーツセンターを活用したスポーツ大会の実施や合宿の誘致を行う。	
KPI (重要業績評価指標)	新規団体の合宿受入数 10団体 新規大会の誘致 3大会 スポーツセンターへの入込客 89,518人（H26）→125,000人（H31）	
具体的な事業	スポーツ合宿助成金事業	総務政策課

### (3) 移住・定住環境の整備

移住者PRイベントの開催、移住HPを開設する		
施策内容	移住セミナー・相談会の開催や、希望者の支援や受入体制の整備を行い、不動産事業者とのタイアップにより移住HPを開設する。	
KPI (重要業績評価指標)	移住相談（セミナー等やHP経由のもの） 15件（H31まで延べ件数）	
具体的な事業	移住関連HP作成事業	総務政策課

空き家登録システムを構築する		
施策内容	空き家情報を集約化し、移住希望者に物件情報の照会ができるシステムの構築を行う。	
KPI (重要業績評価指標)	空き家登録（システム構築後の新規登録） 10件（H31まで延べ件数）	
具体的な事業	空き家登録案内業務委託事業	総務政策課

## 【基本目標3】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

### ◆子育てするならかみとんだ

#### ■数値目標

合計特殊出生率を、2020年には1.80、2030年には2.07を回復し、その後も、2.07を維持する。  
(平成22年の合計特殊出生率1.66)

## 1. 基本的な方向

- 結婚の希望をかなえる
- みんなで育てよう上富田の子ども
- 心豊かな子どもの土台を育てる
- 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む

## 2. 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

### (1) 結婚の希望をかなえる

農業後継者等の婚活イベントを開催する		
施策内容	農業後継者の担い手づくりを目的として、田舎暮らしや農業経営を望む女性との婚活イベントを開催する。また、農業後継者に限らず、婚活活動を支援する。	
KPI (重要業績評価指標)	婚活で成立するカップル15組	
具体的な事業	くちくまの農業発展婚活事業 「さくらプロジェクト」事業	産業建設課産業振興G 総務政策課まちづくりG

### (2) みんなで育てよう上富田の子ども

子育て支援センター他制度を周知する		
施策内容	従来の子育て支援ブックへの掲載・ブックの配布(転入者・母子手帳申請者等)、広報誌への記事掲載(年1-2回)に加え、案内チラシを新たに作成し、検診に訪れた母等に配布することで広く周知する。	
KPI (重要業績評価指標)	ファミリーサポートセンター利用者49件(H26)→2割増(H31)	
具体的な事業	子育て支援軽減施策事業	住民生活課生活G
	子育て応援サポート事業	住民生活課生活G

### (3) 心豊かな子どもの土台を育てる

保育士の研修・保護者向け講演会の実施		
施策内容	職員研修会（全体・経験年齢別（新規））保護者講習会を実施することにより、保護者を含めた保育者全体の質の向上を目指す。	
KPI （重要業績評価指標）	入所希望者 325人（H26）を増やす	
具体的な事業	保育所運営	住民生活課生活G

延長保育・土曜保育の実施		
施策内容	保護者の多様なニーズに応えるため、延長保育・土曜保育を実施する。	
KPI （重要業績評価指標）	入所希望者 325人（H26）を増やす	
具体的な事業	保育所運営	住民生活課生活G

子ども体力向上推進事業		
施策内容	子どもがスポーツに興味を持って取り組めるよう、スポーツ教室の種目を増やす。	
KPI （重要業績評価指標）	現在の3種目（バスケ・サッカー・ラグビー）から種目を増やす。例）鉄棒・跳び箱	
具体的な事業	子ども体力向上推進事業	教育委員会

### (4) 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む

学校施設の充実		
施策内容	学校施設（プール等）の改修及び学校給食を実施する。	
KPI （重要業績評価指標）	1校をのぞき未実施の学校給食実施（H30.4） プール等改修2校（H30以降）	
具体的な事業	学校管理	教育委員会

学力・体力の向上		
施策内容	小中学校教員の先進地視察と講師招聘を実施する。	
KPI （重要業績評価指標）	全国学力・学習状況調査において、小中学校ともに常時全国平均以上を目指す。 全国体力・運動能力・運動習慣等調査においても常時全国平均以上を目指す。	
具体的な事業	先進事例研究成果の自校への導入	教育委員会
	先進地講師を招聘し、研修会を開催	教育委員会

各種活動への参加		
施策内容	地域の特色を活かした行事、世代間、地域間の交流を深める。	
KPI (重要業績評価指標)	全5小学校で、毎年、学校祭り(夏祭り)を開催する。	
具体的な事業	青少年育成町民会議	教育委員会
	子ども会活動支援事業	教育委員会
	地域組織活動	教育委員会

**【基本目標 4】時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する ◆元気でいきいきかみとんだ**

**■数値目標**

健康寿命を伸ばす。当面の指標としては、要介護度 2 以上の認定を受けた 1 号被保険者の 65 歳以上高齢者数に対する割合を平成 31 年には 10.9%にまで下げる。(平成 26 年の比率は 10.99%)

**1. 基本的な方向**

- 自分でつくろう自分の健康
- みんなでつくる災害に強い町

**2. 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)**

**(1) 自分でつくろう自分の健康**

スポーツ観光と健康づくりを推進する民間団体を設立、自立的に運営する	
施策内容	①スポーツで健康なまちづくり、②健康づくりの実践による雇用の創出、③プロモーション、④移住を 4 本柱に、町内資源の有効活用を図り、住民が健康で生き生きと暮らせるための施策を官民協働で推進するため、(仮) (一社)南紀ウエルネスツーリズム協議会を設立する。 上富田スポーツセンターに筋力トレーニングのできるスポーツサロンを建設し、スポーツ大会・スポーツ合宿を誘致するとともに、地域住民の体力向上、介護予防対策事業(会員制)を展開する。
KPI (重要業績評価指標)	介護保険特会規模の伸び 13 億円 (H26) → 14 億 2055 万円 (H31) 介護保険特会保険給付費 13 億 1069 万円 (H27 決算) → 14 億 7519 万円 (H31) (介護保険特別会計の伸び率を 5%から 3%に下げる)
具体的な事業	(一社)南紀ウエルネスツーリズム協議会運営事業 住民生活課住民 G

ウォーキング人口を増やす		
施策内容	いつでもどこでもできるウォーキングを実践することにより、健康への関心を高め、自分の健康は自分で守ることを目指す。	
KPI (重要業績評価指標)	ウォーキング実施する人を増やす。生活いきいき調査結果目標値 23% (平成 24 年度 18%) 国保加入者のメタボリックシンドローム該当者・予備群を減らす。目標値 20% (平成 25 年度 23%)	
具体的な事業	ウォーキング教室 (健康講座 1 回、実践 3 回)	住民生活課住民 G
	ウォーキングマップの作成 (ウォーキングコースの紹介)	住民生活課住民 G
	ウォーキングコース (トリムコース) の看板整備	住民生活課住民 G

健診率を向上する		
施策内容	健診を受けることで、自分の体の状態を知り、健康意識を高めて疾病予防を目指す。	
KPI (重要業績評価指標)	国保加入者の特定健診受診率を上げる。目標値 40% (平成 25 年度 37%)	
具体的な事業	個別案内による勧奨及び広報、街頭啓発による周知	住民生活課住民 G
	受診しやすいような集団健診日の工夫	住民生活課住民 G

## (2) みんなでつくる災害に強い町

避難所でのエコノミークラス症候群予防エクササイズを普及する		
施策内容	東南海・南海地震発生時等での避難所生活でのエコノミークラス症候群発生予防のためのエクササイズを和歌山大学と共同開発し、保育所や幼稚園での啓発実演を通じて父兄・世帯をターゲットにして普及する。また老人クラブの集会や各種イベントにおいても実施する。	
KPI (重要業績評価指標)	啓発研修 (保育所・幼稚園：4回、その他5回。毎年実施)	
具体的な事業	くちくまの健康増進事業	総務政策課

町道・橋梁の長寿命化をはかる		
施策内容	町道橋・トンネル・跨線橋 (道路附属物) の点検及び修繕の実施について町が管理する橋梁 (橋長 2m 以上)・トンネル・跨線橋について点検・調査を実施し、それを踏まえた計画的な修繕や維持管理を行い長寿命化を図り、安全・安心な通行の確保を目指す。	
KPI (重要業績評価指標)	橋梁点検 224 箇所 (H31 まで) トンネル点検 3 箇所 (H31 まで) 跨線橋点検 1 箇所 (H31 まで)	
具体的な事業	社会資本整備総合交付金事業	産業建設課建設 G

水道施設の強化をはかる		
施策内容	上水道施設の設備更新 安定的な給水の確保を維持するうえでも、経年劣化した施設の機能回復は重要な事項であり、また広域的な停電や事故が発生した際にも迅速に対応できるよう自家発電および受変電、その他設備の更新を行い、浄水場設備の機能強化を目指す。	
KPI (重要業績評価指標)	第一浄水場自家発電、受変電、送水ポンプ設備の更新完了 (H31 まで)	
具体的な事業	自家発電設備の更新	上下水道課
	受変電設備の更新	上下水道課
	送水ポンプ設備の更新	上下水道課

家具転倒防止対策を進める		
施策内容	高齢者・身体障害者のみの世帯以外の住宅に対する家具転倒防止金具の取り付けを推進する。	
KPI (重要業績評価指標)	家具転倒防止金具の取り付け 100件 (H31 まで延べ実施数)	
具体的な事業	各種会合・防犯訓練等を通じた広報による住民への周知の徹底及び勧誘の推進	総務政策課

## 【基本目標5】町民全体の知恵と力でもって、これからの上富田町をつくる

◆みんなで支えるかみとんだ

### ■数値目標

上富田町への愛着度を高める。具体的には、町民アンケートで「上富田町をととても好き」と回答した人の割合を33.3%まで高める。（平成27年夏実施のアンケートでは、28.8%）

## 1. 基本的な方向

- 「愛町心」を育む
- 上富田町のアイデンティティを高める

## 2. 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

### （1）「愛町心」を育む

伝統文化・芸能の継承活動を進める	
施策内容	町内に9団体ある無形文化財（獅子舞・神輿）について、関連用具を整備するとともに、若い世代、特に子どもたちへの承継を進める。
KPI （重要業績評価指標）	若者や子どもによる伝統芸能発表会 年1回（H26）→年3回 獅子舞に新たに参加する子どもの数 250人（H31までの延べ人数）
具体的な事業	伝統文化・芸能承継事業 教育委員会

町紹介ビデオを制作する	
施策内容	スポーツセンターや文化会館でのイベント、豊かな自然、交通利便性など町の魅力を発信するイメージビデオを作成し、道の駅等で放映する。
KPI （重要業績評価指標）	インターネット上の閲覧回数 1万回/年 町への観光入込客数 314,084人（H26）→10%増（H31）
具体的な事業	多世代交流町紹介映像制作事業 総務政策課まちづくりG

## (2) 上富田町のアイデンティティを高める

上中・熊高との連携を進める		
施策内容	町内に1中学校区、1高校という利点を生かし、町行事を通じて住民と学生が交流する機会を増やし、学生に町の魅力を見つけてもらい、将来の地域の担い手を育成する。	
KPI (重要業績評価指標)	上富田中学校全校生徒によるフラワータウン事業への参加は維持。 県立熊野高校サポーターズリーダー部員47人(H26)は増やす。 ボランティア連携に関わる提案数 30案(H31までの延べ件数)	
具体的な事業	フラワータウン事業への参加	教育委員会
	独居老人世帯への訪問活動への参加	住民生活課

地域ならではの活動(「一地域一特産」(仮称))を進める		
施策内容	住民それぞれに自分の地域の「良さ」、地域ならではの特産を見つけてもらい、地域活性化につなげていく。朝来・生馬・岩田・岡・市ノ瀬地区等に分け、それぞれの住民の方々に自分たちの地域の「良さ」を話し合ってもらい、取り組みを進める会議(地区まちづくり推進協議会)の結成を支援する。	
KPI (重要業績評価指標)	地区まちづくり推進協議会 5地区	
具体的な事業	地区まちづくり推進協議会を各地域で結成していただき、総会や検討会を開催	取り組み事業の内容に応じた適切な担当課

福祉の小地域活動、まちかどカフェなど集いの場づくりを推進する		
施策内容	地域住民が主体的に、集いの場づくりに取り組むことで、地域のつながり強化や、子ども・高齢者・障害者の見守り、生きがいの場とする。	
KPI (重要業績評価指標)	まちかどカフェなどの集いの場 実施17箇所→30箇所	
具体的な事業	地域で活躍できる方々の募集・育成	住民生活課・教育委員会
	ボランティアの研修・交流会	

## 第4章 総合戦略の推進体制

### 1. PDCAサイクルの導入

まち・ひと・しごと創生を実現するためには、まず、効果的な総合戦略を策定し、着実に実施していくとともに、設定した数値目標等を基に、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて総合戦略を改訂するという一連のプロセスを実行していきます。

PDCAサイクルとは、PLAN（計画）、DO（実施）、CHECK（評価）、ACTION（改善）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のことをいいます。上富田町において人口減少と地域課題に基づく適切な短期・中期の政策目標を設定し、「上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗を検証し、改善していくPDCAサイクルを確立することが重要です。必要に応じて、「上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂（バージョンアップ）も行います。

### 2. 施策の進捗管理体制と外部有識者の参画

「上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実施にあたっては、自治体だけに限らず、住民代表に加え、産業界・大学等の教育機関・金融機関・労働団体・メディア（産・官・学・金・労・言）が連携し効果的な施策が実施されるよう、それぞれの代表も加わった形で、PDCAサイクルに基づく効果検証を行います。

そのために、産・官・学・金・労・言に加え、住民代表からなる上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を設置しています。

### 3. 進捗状況の点検

産業や人口、社会インフラ等の現状や将来の動向に関し必要なデータ分析を行い、地域の強み・弱みなど特性に即した地域課題等を踏まえ「上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく施策のPDCAサイクルを確立します。

○評価主体 「上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」と  
「上富田町まち・ひと・しごと創生本部」

○評価対象 上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策と各事業の進捗状況について

○評価する時期 毎年6月頃

### 4. 地域間の連携推進

国は、地方公共団体間の広域連携に関し、重複する都市圏概念を統一し、経済成長のけん引などの機能を有する「連携中枢都市圏」の形成を促進し、財政面やデータ分析面での支援等を行っています。併せて、従来からの定住自立圏の形成を進め、地域連携による経済・生活圏の形成を推進しています。

上富田町においても、こうした地域連携施策を活用しつつ、地域間の広域連携を積極的に進めることとし、「上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に順次反映させていきます。

上富田町まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成30年7月改定版

平成30年7月

発行 上富田町

編集 上富田町総務政策課

〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763番地

TEL 0739-47-0550（代表）

FAX 0739-47-4005

E-mail [soumu@town.kamitonda.lg.jp](mailto:soumu@town.kamitonda.lg.jp)